

# 「ラウンドハウス」の

トートバッグ | ROUND HOUSE TOTE BAG

Photo: T. Ogi 尾木司

弁当を詰めこんで  
S.L.に乗りに行きたい。



Must Buy Products | 毎月100円以上お買い物をすると必ずお買い得品



|            |   |      |
|------------|---|------|
| ワーク度       | 4 | ★★★★ |
| ショッピングバッグ度 | 4 | ★★★★ |
| 色落ち度       | 4 | ★★★★ |
| リゾート度      | 2 | ★★☆☆ |
| 活用度        | 4 | ★★★★ |

## 【 なんとか柳 】



音楽とアウトドアを愛し、愛車は中古のジープという男っぽいセレクションだが、旧きよきアメリカン・アウトドアではなく、どうしても「田舎の国から」の五郎さんの純和風アウトドアに見られがちの悲しい男。買い物は意外とブランドモノに弱かったりする

↑創業から100年以上続くアメリカの老舗ワークブランド、ラウンドハウス。ヘビーデューティさに定評のある同ブランドのウエアやデニムに使われる同じ生地をそのまま使用したトートバッグだ。メイド・イン・USAでちょうどいい大きさ、それに手ごろな値段と、申し分のない使えるバッグ。3990円（セブティス TEL03-5481-8651）



「仕事」よりも「ワーク」というところかこう、洒落た匂いみたいなものを感じてしまう。作業着とワークウエアだつて同義語だけど、やっぱり後者のほうがオーバオールやワークブーツなんかのイメージを持ちやすいし、どこか無骨でクールな部分に惹かれてしまう。そんなワーカーたちを100年以上前から支え続けているのがこのラウンドハウスである。1800年代末期から1900年代初頭、まだネイティブアメリカンたちが多く居住し、一方でフロンティスビリティとよばれる西部開拓時代は隆盛し100台以上のもので蒸気機関車が行き交うような時代に、ラウンドハウスは生まれたのだ。

ラウンドハウスの名前の由来は蒸気機関車の工場が円形をしてことからその名がつけられたそう。当時のレイルローダーたちはラウンドハウスのオーバオールを纏い仕事に従事していたのだ。ロ「マーク」に「THE BEST WEARS LONGEST」とあるようにタフで着心地がいいのが特徴で、現在でもメイド・イン・USAにこだわる姿勢は多くのワーカーはもちろん、アメリカンプロダクツを支持するひとたちから愛されているのである。そんなラウンドハウスのデニム生地をそのまま使ったのがこのトートバッグ。ヒッコリーのポケットやボタン、縫製などもそのままなのが嬉しい。もちろん色落ちもしていくから使い込むほどに愛着が沸いてしまうのだ。おススメはこのバッグをもってレイルローダースタイルでS.L.に乗ること。当時のレイルローダーに思いをはせながら極東を走るS.L.に思いをシंकクさせてみる。それが男のロマンというものではなからうか。